

平成26年度 農業農村整備事業 広報活動開催

八月二日（土）に豊橋市こども未来館にて「農業農村整備事業活動」が、プロジェクト水土里の主催により開催されました。

本活動は、「あいちの農業用水展」として「水が育てる愛と知の風土」をテーマにブースを構え、「田んぼの水族館」をメインに、小水力発電のデモンストラーション等、農業農村整備事業の重要性について、子供を中心に広く一般の方々の理解を深めていただくことを目的に、参加型イベントやパネル展示等が実施されました。

当研究会では、参加型イベントの一環として、「測量実験コーナー」を開設し、測量機器への触れあいを通じて、多くの子供とその保護者の方々に、測量への理解を深めていただきました。当日は、約三百五十名の方々に測量を実体験していただくことが出来ました。測量器具に直接触れ、今まで道路などで行われている作業が、何を目的に何を行っているのかを、理解していただけたと思います。

会場風景



体験状況（何が見えるかな？）



平成26年度 企画研修会開催

碑文が語る 愛知の土地改良

「矢作川第二土地改良事業 竣工記念碑」

場所	岡崎市細川町門立
寸法	H 1,287×B 1,840 (mm)
建設	昭和53年10月
碑文	「清冽西三治」
書	仲谷 義明

昭和38年の羽布ダムの完成に引続き、「矢作川第二期農業水利事業」が起工され、昭和53年11月に完工式を迎えた。細川・乙川・鹿乗川の3頭首工と幹線用水路により、7,700haをかんがいた。水利用の合理化と水配分の円滑化を図る用水遠方監視制御の水管理施設が、全国に先がけて設置された。



九月十七日（水）に愛知県土地改良会館大会議室において、企画研修会を開催しました。十一月十日～十二日に名古屋国際会議場で開催される、「ESDユネスコ会議」と、生ある人間として避けることの出来ない死について「いのちについて考える 死生学入門」についての講演でした。

「ESDユネスコ会議」

ESDユネスコ会議

あいち・なごや支援実行委員会

総務・調整グループ長 來住南 輝

「いのちについて考える 死生学入門」

身延山大学仏教学部

特任准教授 村瀬 正光

ESD（持続可能な開発のための教育）をテーマに、主催がユネスコ、日本政府で、対象をユネスコ加盟国百九十五か国で開催されます。国内外の閣僚などを含む、数千人規模での国際会議の予定とのことです。いのちについて、学問からの考察で、宗教とは、いのちについて、終末期に関して、生きるこの意味を考えるワーク等、人間の死生を学術的に解説した講演でした。



村瀬 正光 氏



來住南 輝 氏